



黒島魂

～しまごころ～

「みがきあい(キラキラ)」

「ささえあい(ニコニコ)」

「わかりあい(ワクワク)」

佐世保市中学校体育大会



6月6日(火) 激励式

AI の発達による技術革新や新型コロナウイルス等の未知の感染症の流行、未だ終息の見えない国際紛争等、今や世の中は、少し先の未来さえ、予測困難な時代に入ったと言われています。

そんな世の中を、生き抜くために必要な力とは何でしょうか。

本校では、それを「**確かな学力**」と定義し、日々の授業の中で子供たちに身につけさせるべく、研究を進めているところです。因みに、ここで言う「学力」とは、単なる「知識・技能の習得」では、ありません。身につけた**知識・技能**を活用して課題を解決するための**思考力・**

判断力・表現力、そして、知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力を身につけるための**粘り強い取組**の中で、自身の学習を**調整する力**をバランスよく、身につけることです。

そして、この「学力」の向上を支えるのが「心身のたくましさ」であると考えます。そして本校では、「心身のたくましさ」を、次の4つの力と確認しています。

- 1 自ら学びに向かう力 …自主性・向上心等
- 2 学び続ける力 …忍耐力等
- 3 他者とのかかわる力 …思いやり・寛容・柔軟性等
- 4 新たな価値を見出す力…創造力・応用力等

では、これらの力を身につけるために必要なことは何でしょうか。それは「**間違ふこと**」「**失敗すること**」です。本田技研工業の創業者である本田宗一郎氏の言葉に「**失敗が人間を成長させると、私は考える。**」とあるように、間違いや失敗からこそ「学び」があると考えます。そして、その「学び」の先にあるのは「成功」の喜び（**達成感・成就感**）です。その喜びを授業で子供たちに感じてもらおうと、本校では、「**教師が正解を教えない**」授業の実践を図っています。当然授業の中で、子供たちは、困難に直面し、迷ったり困ったりします。しかし、ここで教師は、安易に正解を教えることはしません。「**正解を導くための手立て**」を助言し、可能な限り子供たち自らの力で、正解を見つけ達成感・成就感を味わうことができるよう支援していきます。もしかしたら、この授業スタイルは、昭和や平成の価値観で言う「わかりやすい授業」とは一線を画すものかもしれません。我々も試行錯誤を繰り返しながら、粘り強く前に進んでいきます。

報告が遅くなりましたが、6月10日（土）、6月11日（日）の2日間、後期課程の生徒は佐世保市中学校体育大会に参加しました。（選手2名、補助員3名）結果は下にお示ししたとおりです。

選手はもちろん補助員で参加した3名も含めて、自分の持てる力を精一杯発揮してくれました。スポーツは勝負の世界ですから、勝ち負けはあります。しかし、その勝敗はさほど重要なことではないと思います。大切なことはその過程であり、目標に向かって、主体的に考え、努力したことそのものに価値があります。試合でうまくいったこと、うまくいかなかったこと（これが特に大切です）、その他すべてのことが学びです。今回の学びを今後の学校生活に生かし、「**夢の実現 15の春！**」をめざし、より一層「**確かな学力**」の定着に全力を尽くす所存です。

保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、大会開催にご尽力いただいたすべての方々に、心より感謝申し上げます。チーム黒島小中学校の、チーム力がより一層高まった素晴らしい2日間でした。ありがとうございました。

試合結果

〇〇 〇〇	1 回戦 0－2
〇〇 〇〇	1 回戦 0－2

